



平成29年11月10日（金） 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当	電話番号
農村振興課	農村企画係	若山	内線 3174 直通 058-272-8460 FAX 058-278-2698

## 棚田保全組織座談会を開催します！

県は、美しい風景の形成や県土の保全など多面的な機能を有する棚田<sup>\*1</sup>を守り続けていくために、県内の棚田保全に取り組む地域住民や行政職員とともに、今後の保全活動の活性化に向けた情報交換などを行う座談会を開催しています。

このたび、「ぎふの棚田21選<sup>\*2</sup>」に認定されている飛騨市の『種蔵棚田』を会場に、棚田保全組織のリーダー、地域住民、地域を支援する大学生、県・市町職員が集まり、棚田の保全について考え、意見交換する座談会を下記のとおり開催します。

### 記

#### 1 日時

平成29年11月17日（金）～18日（土）

#### 2 会場

座談会・取組紹介：宮川公民館（宮川振興事務所2F）（飛騨市宮川町林50-1：図面参照）  
フィールドワーク：種蔵棚田（飛騨市宮川町種蔵）

#### 3 スケジュール

##### （1）1日目（11月17日（金））

13：55～15：00 情報提供

- ・県の棚田保全に向けた支援について（県農村振興課）
- ・若い力で元気創出ふるさと支援事業<sup>\*3</sup>の取組み紹介（岐阜大学、岐阜聖徳学園大学）
- ・種蔵を守り育む会の取組み紹介（種蔵を守り育む会）

15：10～17：00 座談会（意見交換会）

- ・コーディネーター：岐阜大学 まつもとやすお 松本康夫 名誉教授  
※「ぎふの田舎へいこう！」推進協議会からぎふの田舎応援隊<sup>\*4</sup>等の取組みを紹介

##### （2）2日目（11月18日（土））

9：00～10：30 フィールドワーク（種蔵棚田の視察）

#### 4 参加者

棚田保全組織の代表者、棚田保全に取り組む地域住民、棚田を支援する大学生、行政（市町、県）職員 ほか 約40名

#### 5 その他

2日目のフィールドワーク（現地視察）を取材する場合には、事前に上記担当までご連絡をお願いします。なお、移動手段については各自で対応願います。

**\* 1 県内の棚田の状況**

県内には、約 4,300ha（県内の水田の約 1 割）の棚田があり、県民の食料を生産する場としてだけでなく、美しい風景の形成や県土の保全、伝統・文化の継承などの多面的機能を持ち、私たちの暮らしや環境に大きな役割を果たしている。

**\* 2 「ぎふの棚田 2 1 選」について**

後世へ伝えたい岐阜県の棚田を募集し、平成 2 0 年 1 2 月に「ぎふの棚田 2 1 選」として、1 9 地区の棚田を認定。

**\* 3 「若い力で元気創出ふるさと支援事業」について**

棚田地域を元気にするため、大学生等からイベント開催や特産品開発などの提案を募集し、その実践活動に対し支援する事業。

**\* 4 「ぎふの田舎応援隊」について**

棚田地域等でボランティア活動をしていただく都市住民等を「ぎふの田舎応援隊」として登録し、地域の人々と一緒になって活動をしていただく取組み。

※平成 2 9 年 1 0 月 3 1 日現在で、8 9 名の方が登録。

# 《位置図》

